

2021年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月24日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

コード番号 3160 URL <http://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 2021年2月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	27,783	12.1	48	60.1	141	5.0	443	
2020年5月期第2四半期	31,592	2.7	121	49.4	148	45.7	66	61.2

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 273百万円 (%) 2020年5月期第2四半期 122百万円 (34.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	33.46	
2020年5月期第2四半期	5.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第2四半期	17,053	4,433	26.0	334.58
2020年5月期	16,565	4,766	28.8	359.75

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 4,433百万円 2020年5月期 4,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		4.50		4.50	9.00
2021年5月期		4.50			
2021年5月期(予想)				4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,400	5.4	370	7.6	490	3.4	225		16.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期2Q	13,450,800 株	2020年5月期	13,450,800 株
期末自己株式数	2021年5月期2Q	200,012 株	2020年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期2Q	13,250,788 株	2020年5月期2Q	13,250,788 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、企業収益や個人消費が減少するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた外出自粛等により来客数が減少するなど、厳しい経営環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループはお客様や従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、食を支える企業として安心・安全な商品提供に努めております。業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は、当社グループの主要販売先である外食産業の経営環境の悪化を招き、当社グループにおきましても外商事業を中心に、厳しい事業運営を強いられました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は277億83百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益は48百万円（前年同期比60.1%減）、経常利益は1億41百万円（前年同期比5.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等から4億43百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益66百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、既存得意先との深耕を図るとともに、居酒屋やレストラン等の外食業態から給食、病院、中食業態など多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、得意先における外出自粛による来店客数の減少などから、当事業の売上が減少しました。

この結果、外商事業の売上高は166億53百万円（前年同期比19.7%減）、営業損失は2億92百万円（前年同期は営業損失1億39百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、それぞれの店舗において、メーカーフェア等の販売施策の展開や、近隣飲食店等への営業活動に注力するとともに、家庭内消費に適したアイテム拡充など顧客目線に立った店舗運営に取り組み、来店客数が増加し売上が伸長しております。新規出店については、2020年11月に飯田店（長野県飯田市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は102億40百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は8億5百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として47店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、海外を含めた新規得意先の開拓など、国内外への販路拡大に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益改善に努めるとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

しかしながら、外商事業と同様に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当事業の売上が減少しました。

この結果、水産品事業の売上高は9億50百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は6百万円（前年同期比54.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して商品が4億63百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が14億52百万円増加したこと等により、流動資産は全体で7億35百万円増加しました。また、固定資産は、投資有価証券が1億13百万円減少したこと等により、全体で2億47百万円減少しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して4億88百万円増加し、170億53百万円となりました。

（負債）

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が1億60百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億72百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が16億58百万円増加したこと等により、流動負債が全体で11億62百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が3億50百万円減少したこと等により、全体で3億40百万円減少しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して8億22百万円増加し、126億20百万円となりました。

（純資産）

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して3億33百万円減少し、44億33百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは10億18百万円の収入（前年同期は5億57百万円の収入）となりました。これは、売上債権の増加14億52百万円があったものの、投資有価証券評価損4億31百万円の計上、たな卸資産の減少4億59百万円、仕入債務の増加16億58百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億91百万円の支出（前年同期は2億83百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出3億6百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは7億73百万円の支出（前年同期は15百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の純減額1億60百万円、長期借入金の返済による支出5億23百万円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少し、2億72百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、2020年12月23日に公表しました業績予想に修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	419,140	272,746
受取手形及び売掛金	3,253,651	4,706,618
有価証券	97,835	100,180
商品	4,025,036	3,561,820
貯蔵品	43,111	46,801
その他	1,169,220	1,058,223
貸倒引当金	△1,980	△4,566
流動資産合計	9,006,015	9,741,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,171,663	3,296,092
その他(純額)	1,261,259	1,234,146
有形固定資産合計	4,432,923	4,530,239
無形固定資産	39,187	35,684
投資その他の資産		
投資有価証券	1,197,329	1,083,576
その他	2,361,347	2,132,389
貸倒引当金	△471,641	△469,981
投資その他の資産合計	3,087,035	2,745,985
固定資産合計	7,559,146	7,311,909
資産合計	16,565,162	17,053,733

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,284,668	5,943,349
短期借入金	1,859,000	1,698,500
1年内返済予定の長期借入金	916,435	743,567
未払法人税等	110,204	42,387
賞与引当金	217,455	214,969
ポイント引当金	21,513	22,130
その他	1,021,010	927,737
流動負債合計	8,430,287	9,592,641
固定負債		
長期借入金	1,732,492	1,382,278
役員退職慰労引当金	261,517	273,577
退職給付に係る負債	392,895	407,597
資産除去債務	455,420	467,025
その他	525,621	497,149
固定負債合計	3,367,947	3,027,628
負債合計	11,798,234	12,620,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,076,372	1,076,372
資本剰余金	980,171	980,171
利益剰余金	2,830,184	2,327,151
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	4,852,824	4,349,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△91,358	76,660
繰延ヘッジ損益	423	1,603
退職給付に係る調整累計額	5,038	5,408
その他の包括利益累計額合計	△85,897	83,672
純資産合計	4,766,927	4,433,464
負債純資産合計	16,565,162	17,053,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	31,592,443	27,783,137
売上原価	25,705,658	22,264,061
売上総利益	5,886,784	5,519,075
販売費及び一般管理費	5,765,474	5,470,732
営業利益	121,310	48,342
営業外収益		
受取利息	6,872	6,287
受取配当金	1,707	3,441
受取賃貸料	45,890	44,258
受取手数料	11,409	10,776
助成金収入	—	68,221
その他	12,743	10,723
営業外収益合計	78,624	143,708
営業外費用		
支払利息	12,054	11,050
賃貸費用	35,875	34,637
固定資産除売却損	773	3,530
その他	2,304	1,381
営業外費用合計	51,008	50,599
経常利益	148,925	141,451
特別損失		
減損損失	9,299	—
投資有価証券評価損	—	431,176
特別損失合計	9,299	431,176
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	139,626	△289,724
法人税、住民税及び事業税	75,886	15,581
法人税等調整額	△3,259	138,098
法人税等合計	72,627	153,679
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,998	△443,404
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	66,998	△443,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,998	△443,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,106	168,019
繰延ヘッジ損益	△2,844	1,180
退職給付に係る調整額	1,306	370
その他の包括利益合計	55,568	169,570
四半期包括利益	122,567	△273,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,567	△273,834
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	139,626	△289,724
減価償却費	256,834	228,224
減損損失	9,299	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	431,176
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,017	924
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,182	△2,485
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△84	616
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,778	12,060
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,901	15,230
受取利息及び受取配当金	△8,580	△9,728
助成金収入	-	△68,221
支払利息	12,054	11,050
固定資産除売却損益(△は益)	773	3,530
売上債権の増減額(△は増加)	△169,338	△1,452,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	△122,555	459,526
仕入債務の増減額(△は減少)	426,632	1,658,681
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,722	△4,990
その他	50,801	62,634
小計	604,221	1,055,537
利息及び配当金の受取額	3,237	7,388
利息の支払額	△8,290	△7,264
助成金の受取額	-	40,333
法人税等の支払額	△41,381	△77,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	557,787	1,018,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△135,292	△306,726
無形固定資産の取得による支出	△19,804	△2,553
投資有価証券の取得による支出	△125,657	△205,106
投資有価証券の売却による収入	-	123,716
敷金及び保証金の差入による支出	△198	△10,500
その他	△2,729	9,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,682	△391,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△851,000	△160,500
長期借入れによる収入	1,500,000	-
長期借入金の返済による支出	△581,570	△523,082
配当金の支払額	△52,929	△59,715
リース債務の返済による支出	△29,528	△29,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,028	△773,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38	102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	259,038	△146,393
現金及び現金同等物の期首残高	379,833	419,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	638,872	272,746

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りに記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日 至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	20,727,558	9,923,506	933,172	31,584,238	8,204	—	31,592,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,398	9,407	61,748	74,555	—	△74,555	—
計	20,730,956	9,932,914	994,921	31,658,793	8,204	△74,555	31,592,443
セグメント利益又は損失(△)	△139,100	725,097	13,979	599,976	2,564	△481,230	121,310

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△481,230千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

外商事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において9,299千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日 至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	16,652,363	10,233,558	889,220	27,775,142	7,995	—	27,783,137
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,575	7,429	61,582	70,588	—	△70,588	—
計	16,653,939	10,240,987	950,803	27,845,730	7,995	△70,588	27,783,137
セグメント利益又は損失(△)	△292,951	805,234	6,372	518,656	2,939	△473,252	48,342

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△473,252千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。